



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)看護指導

制定 2020.12

修定 2022.11

日本語版修定 2022.11

一、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは？

中国湖北省武漢市で発生した病因不明の肺炎で、台湾では武漢肺炎と呼ばれています。世界保健機関に2020年2月11日新型コロナウイルスによる感染症をCOVID-19に命名されました。台湾では第五種類の法定感染症「重症特殊感染性肺炎」と分類され、主に呼吸器症状、鼻づまり、鼻水、咳、発熱などがあります。

二、感染経路

これは主に呼吸器粒子の密接な接触（約1メートル以内）によって発生し、感染者が咳、くしゃみ、または話すときに呼吸器分泌物に放出されるウイルスは次の経路を介して拡散します：

- (一)ウイルスを含む呼吸器飛沫の吸入:通風不良の室内密閉空間、曝露時間が長い(通常15分より大きい)などの場合、感染リスクを高める可能性がある。
- (二)ウイルスの飛沫が目、口、鼻粘膜に直接飛び散る。
- (三)手がウイルスの飛沫に直接接触したり、ウイルスのある物体の表面に間接的に触れたりして、手がウイルスに汚染された後、目、口、鼻粘膜に触れたりする。

三、潜伏期間

世界保健機関の発表によると、新型コロナウイルス感染症は感染から発症までの潜伏期間は1至14日(主に5~6日)です。

四、診断方法

- (一)核酸試験 (real-time reverse-transcription polymerase chain reaction, RT-PCR):気道から検体を採取し、急性感染期の検査の中で最優先とされています。
- (二)血清学検査 (serological test):血液に抗体があるかどうかを検査し、患者の感染後の回復期を確定診断する検査に適している。

五、臨床症状

咳、筋肉痛、頭痛が主な症状で、発熱、手足のしびれ、下痢、のどの痛み、においや味覚の異常、呼吸困難などの症状がみられ、重症になると呼吸窮迫症候群や多臓器不全、ショック、等確認された患者の約10%は、急性期

からの回復後3か月間、上記の症状を持ち続けました。

六、重大な危険因子

65歳以上、がん、糖尿病、慢性腎臓病、心血管疾患（高血圧を除く）、慢性肺疾患（間質性肺疾患、肺塞栓症、肺高血圧症、気管拡張症、慢性閉塞性肺疾患）、結核、慢性肝疾患（肝硬変、非アルコール性脂肪性肝炎、アルコール性肝疾患および免疫性肝炎）、障害（注意欠陥および多動性障害、脳性麻痺、先天性欠損症、発達障害または学習障害、脊髄損傷）、精神障害（気分障害、統合失調症）、認知症、喫煙（または元喫煙者）、BMI \geq 30（または12～17歳の子供および青年の場合は95パーセントイル以上のBMI）、妊娠（または産後6週間）の疾患）、免疫機能に影響を与える疾患（HIV感染、先天性免疫不全、固形臓器）または血液幹細胞移植、ステロイドまたは他の免疫抑制剤の使用）。

七、治療方法

現在、特に推奨される新型コロナウイルス感染症の治療法はありません。ほとんどが支持療法を使用しています。推奨される予防策は手洗い、口と鼻の分泌物の適切な処理など他の呼吸器感染症と同じです。

八、日常生活の注意事項

- (一)病気の間、家で休養し、毎日朝晩1回ずつ体温を測り、体温、健康状況、活動歴を詳しく記録し、医用マスクを着用し、外出を避け、できるだけ1メートル以上の距離を保つ。
- (二)マスクが口と鼻の分泌物に付着した場合は、直ちに交換して中に折りてゴミ箱に捨てるべきです。
- (三)手を清潔に保ち、頻繁に手を洗う習慣を維持する。原則として、石鹸と水またはアルコールベースのドライハンドサニタイザーを使用して手をきれいにすることができます。
- (四)手で直接目、鼻、口に触れないようにし、手が気道分泌物に触れた場合は、石鹸と水でよく洗ってください。
- (五)消毒水を使われることによって家庭環境衛生を維持できます。たとえば一般的に市販されている漂白剤には約5%の次亜塩素酸ナトリウムが含まれているため、1c.c.漂白剤に100c.c.冷水で希釈（つまり1:100希釈）します、希釈後24時間以内に殺菌機能を発揮します。
- (六)漂白水は粘膜、皮膚と呼吸器を刺激し、消毒時に窓を開け、マスク、手袋を着用し、呼吸器アレルギーのある人は、消毒時に現場を離れることを提案し、消毒は毎日1回、消毒10分後に清水で洗浄したり、拭いたりして、皮膚が刺激を受けることを減らす。
- (七)大規模な消毒の必要はなく、ドアノブ、デスクトップ、子供のおもちゃなど、家庭で頻繁に触れるアイテムや家具の表面の拭き取りと消毒に集

中するだけです。

(八) COVID-19 の予防接種ポリシーに協力して、自己防御を強化します。

(九) 発熱、咳、呼吸困難などの症状があり、受診を希望される場合は、まず保健局（1922年）に連絡し、保健局が指定する方法で指定医療機関を受診してください。外出時はマスクを着用し、病院が定めたトリアージメカニズムに従って、マスクを着用し、診療を受けてください。

何か質問があればいつでもご遠慮なくお気軽にお問い合わせください。看護スタッフが喜んでお手伝いいたします。退院後何か質問があれば、「健康相談専用線」を利用してください。台北/淡水馬偕(02)25713760、新竹馬偕(03) 5745098、台東馬偕(089)310150内線311。お問い合わせ時間：月曜日から金曜日，午前9:00~12:00、午後2:00~5:00

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます